

外部評価の反映についての資料（修正後）

	事業名	所管課	H20所管課の評価	H20 外部評価員意見	H20外部評価	H20当初予算 (千円)	H21当初予算 (千円)	担当課の考え	H21所管課 評価
1	おもてなし講座・須坂あきんど塾開催事業	商業観光課	拡大継続	松本大学総合経営学部学生が、みそ料理店のおもてなし度調査を実施したが、みそ料理のPR方法をどうしていくかが課題である。店側も向上心がある方が集まり、調査結果は素直に受け入れられている。店が自ら当事者意識を持って行動していくことが必要である。今後の方向性は「縮小継続」が妥当である。	縮小継続	4,928	0	外部評価の「店が自ら当事者意識を持って行動していくことが必要」という意見はもっともで、おもてなし講座は観光協会の事業として実施、あきんど塾は休止し、本事業は統合・廃止とする。	統合・廃止
2	健康増進事業	健康づくり課	拡大継続	市民が楽しみながら健康づくり意識を高める目的で開催する健康まつりは、須坂病院との共催で市民のための健康づくり普及になるのか。マンネリ化もしているため今後開催内容を充実していくことが必要。健康カレンダーもいろいろ書きすぎて、わかりづらいので内容の見直しが必要。今後の方向性は、超高齢化時代に対応した健康づくりの推進を進めるため、「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	36,646	37,094	外部評価にある「超高齢化時代に対応した健康づくりを推進」するため、健康まつりについては、実行委員会による計画・運営・実施をさらに進める。運動事業については産・官連携、市民の手による実践をすすめる。食育事業については、須坂市の食育推進基本計画の沿った、市民と連携し実践する。ただ、これらの取り組みは従来の事業の延長上にあることから、本事業は現状継続とする。	現状継続
3	ごみ減量・再資源化事業	生活環境課	拡大継続	ごみ分別の細分化により、一定の減量効果が見られる。ごみ分別に対して、今まで以上に市民の理解と信頼が得られるよう写真・市HPを活用した分別方法のPRに力を入れて、リサイクル化を進める必要がある。今後の方向性は「効率化継続」が妥当である。	効率化継続	55,152	57,367	外部評価の意見にもあるが、市民の理解と信頼が得られるように、今まで以上にPRに力を入れてリサイクル化を進める。外部評価は効率化継続であるが、「生ごみの堆肥化等の推進」「家庭ごみの全面有料化」「さらなる分別収集の拡大」を図るため、効率化を進めながら、全体では拡大継続とする。	拡大継続
4	職員研修事業	総務課	拡大継続	正規職員だけでなく、嘱託・臨時職員にも同じ研修をしないと日本一の市役所にならないのではないかと。職員一人ひとりにキャリアデザインを書かせる等、自ら学んでいく意識を育てる。レベルを保つのも大変なので、研修による効率的で効果的な組織・体制づくりが必要。今後の方向性は「効率化継続」が妥当である。	効率化継続	6,710	8,383	外部評価員の意見のとおり、研修の成果を生かして職員自らが講師となって職員の資質向上を目指すなど、効率的な研修方法に努めている。提案のあったキャリアデザインについては、目標管理制度と自己申告制度の中で取り組みたい。職員一人一人が担当する業務量が増えている中で、専門研修への参加がなかなか進まないが、研修方法の工夫によりスピードアップの余地はある。今後、職員の資質の向上（あいさつ・電話対応・窓口対応）のための研修の充実と、専門知識の研修、人事評価研修の強化を予定している	拡大継続
5	防災危機管理事業	総務課	拡大継続	災害時の迅速な対応と地域住民の防災意識の高揚を図るため作成された地域防災マップに、個人情報で障害者等名前が出て来ない方もいる。いざという時のために、地域見守りネットワークが重要になってくる。引き続き、時代に合った防災をしていく必要がある。よって、今後の方向性は「現状継続」が妥当である。	現状継続	23,967	28,432	外部評価員意見のとおり、引き続き防災マップ見直しを通じた地域のコミュニティーづくりや、市防災訓練、自主防災組織による防災訓練により市民の防災意識を高める。今後、各家庭での非常持出し品や家庭での備蓄を呼びかけるとともに、防災設備の整備などを進めるため、全体としては拡大継続とする。	拡大継続
6	企業経営基盤強化支援事業	工業課	拡大継続	企業動向調査等は、他調査も活用する等して効率化し、経営資源を有効に活かせるような支援に力をいれたらどうか。経営基盤を強化し、全体の底上げを図る必要がある。実践ものづくり塾もトップだけが対象でなく、もっと大勢の参加ができるような形態づくりをしていかなければならない。また、商業も含めた商工業の大きな枠で事業展開を考える必要がある。今後の方向性は、「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	3,723	3,624	この事業は、中小企業の経営基盤強化、改善を支援することにより、全体の底上げを図ることを目的としている。そのため、中小企業が抱える経営上の課題、問題点、要望等を把握する必要があり、企業動向調査や緊急経済対策等に対する調査を行っているが、今後は企業訪問を充実させ、より具体的な企業の声を聞きながら、施策に反映させることが望まれる。また、地球環境に配慮した循環型社会の構築は世界規模の課題であり、企業訪問等により、エコアクション21取得普及を積極的に推進する。地域総合整備資金貸付事業は、無利子で融資が受けられるため、企業にとっては有利な資金であり、企業誘致や既存工場の増改築に対する支援制度であるので、企業誘致事業にも該当する	拡大継続

	事業名	所管課	H20所管課の 評価	H20 外部 評 価 員 意 見	H20外部評価	H20当初予算 (千円)	H21当初予 算(千円)	担当課の考え	H21所管課 評価
7	歩道段差解消事業	道路河川課	拡大継続	段差がある歩道をバリアフリー化するものだが、傷みがひどいところから進められている。今後も公有地管理の適正化も進め、市民の意見も聞きながらやさしいまちづくりを進めていかねばならない。今後の方向性は、「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	39,007	33,076	舗装事業との調整を図りながら順次進めていく。よって、今後も拡大継続とする。	拡大継続
8	花と緑のまちづくり事業	まちづくり課	拡大継続	花と緑のまちづくり事業は、事業内容が分かりやすく、幅広い市民に理解され、各地域に花づくりの動きが広がり、目に見える形で成果が上がっている。すでに事業の主役は地域住民に移りつつあることから、行政は住民活動の継続支援に力を入れた方が良いと考えるが、担当課でも講座やコンテスト等の支援事業に力を入れている。よって、今後の方向性は「現状継続」が妥当である。	現状継続	19,859	22,027	外部評価員の意見にあるとおり、各地域に花づくりの動きが広まり、講座やコンテストも盛況である。今後は支援事業等に力を入れながら花と緑のまちづくり事業への理解を深め、企業や個人などの取組み団体数を増やしたいと考えている。よって、全体としては今後も拡大継続とする。	拡大継続
9	鳥獣被害防止対策事業	農林課	拡大継続	鳥獣被害は、被害を受けている農家だけの問題では無い。根本的対策は、野生動物との棲み分けであるのだから、電気柵や防護柵の設置を急いで被害を小さくすると共に、野生動物に安易にエサを提供しない運動を広めることで、野生動物との共存の道を探らうか。今後の方向性は担当課の判断と同じく「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	12,340	20,371	猿・イノシシ等による被害農地において、電気柵や防護柵、檻及び設置及び「犬猿の仲活用型猿害防止事業（モンキードック）」を推進する。よって、今後も拡大継続とする。	拡大継続
10	遊休農地解消対策事業	農林課	拡大継続	遊休農地の問題は市が抱える大きな課題の一つである。農地バンク等に取組んでも、なかなか効果が表れないのは、市のPRが不足していることと、農地所有者の切実な声が、行政に届いていないことが原因ではないだろうか。現在の耕作者は急速に高齢化していることから、早急に効果的な取組みを起こす必要がある。よって、今後の方向性は担当課の判断と同じく「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	7,013	7,325	坂市遊休農地解消対策事業補助金や国庫補助事業を活用して、遊休農地の解消を積極的に進める。よって、今後も拡大継続とする。	拡大継続
11	介護保険介護予防事業（特定高齢者）	高齢者福祉課	拡大継続	介護予防事業は、要介護者の増加率を緩和するという意味で、非常に意義のある事業である。この事業の重要性は年々大きくなると予想されるが、介護予防サポーター養成講座など、将来を見越した取り組みをしていて、非常に心強い。引き続き、社会全体で支えていく視点で、参加者を増やすための方策を実施していただきたい。よって、今後の方向性は「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	50,549	57,247	早期に生活機能低下に気づき、早い時期からの介護予防事業への取り組みは、活動的な生活を継続していくためには大切である。引き続き要介護者を社会全体で支えるために、拡大継続とする。	拡大継続
12	介護保険介護予防事業（一般高齢者）	高齢者福祉課	拡大継続	介護予防事業は、要介護者の増加率を緩和するという意味で、非常に意義のある事業である。この事業の重要性は年々大きくなると予想されるが、介護予防サポーター養成講座など、将来を見越した取り組みをしていて、非常に心強い。引き続き、社会全体で支えていく視点で、参加者を増やすための方策を実施していただきたい。よって、今後の方向性は「拡大継続」が妥当である。	拡大継続	19,812	21,998	18年度より介護保険制度の改正に伴い、施行した事業である。今後、全高齢者を対象とした一般高齢者介護予防事業として他課の事業との統合や介護予防普及啓発をさらに押し進めていく。よって、今後も拡大継続とする。	拡大継続
13	地域活性化事業	政策推進課	拡大継続	地域の活性化を進めるために、市外への情報発信や、地域ブランド確立に力を入れているが、市民への浸透が十分でなければ、せっかく須坂に来てくれた人も興ざめで意味が無い。市民生活や地域社会とつながりを持ち、地域のブランドが市民一人一人に浸透していけば、より効果的に須坂ブランドが広まるのではないかと。よって、今後の方向性は、市民との共創による「効率化継続」が妥当である。	効率化継続	15,295	19,552	外部評価員の意見にある、地域ブランド確立に向けた取り組みの市民への周知の一環として、市民向け報告会やホームページを活用した情報発信に努めている。引き続き市民に向けた情報発信を行い、地域ブランドの定着に努める。また、須坂応援団新規入団者の勧誘や市民との共創を進めつつ、事業内容を充実させるため、今後も拡大継続とする。	拡大継続

	事業名	所管課	H20所管課の 評価	H20 外部 評 価 員 意 見	H20外部評価	H20当初予算 (千円)	H21当初予 算(千円)	担当課の考え	H21所管課 評価
14	子育て支援センター管理運営事業	子ども課	拡大継続	<p>少子化や核家族化が進み、子育て支援事業の需要は増している。ただ、求められるままに事業を展開していくと、親や地域における子育て力が低下してしまう恐れもある。</p> <p>子育て支援センターの役割は、あくまでも支援であるのだから、子育ての代行にならないように事業を選択し、親や地域における役割を奪わないように注意する必要がある。よって、今後の方向性は「現状継続」が妥当である。</p>	現状継続	12,192	13,546	<p>外部評価員の意見はもっともであるが、少子化や核家族化により、家庭や地域を取り巻く子育て環境が変化している中で、社会全体の子育て力を維持するために、情報の提供や相談体制、緊急時に役に立つ支援サービスなどは必要だと考えている。</p> <p>子育て支援センターは現在利用者が増え、施設が狭隘になっているため、施設の改修整備等により利用者の利便性の向上を図ると共に、家庭や地域の子育て力を育む中心的組織として、人員配置を含めた体制整備が求められている。よって今後も拡大継続とする。</p>	拡大継続
15	健全育成推進事業	子ども課	拡大継続	<p>リーダー養成研修会や、子どもフェスティバルの開催により、子どもたちの自発的な力が育ってきているのは心強い。これらの取組みにより各町の育成会事業でも子供リーダーが活躍する機運がある等、着実に成果は上がってきている。今後は、高校生のリーダーが活躍できる場の提供も考える必要がある。リーダーの育成には、手間や費用も必要だが、未来への投資という意味も込めて、今後の方向性は担当課の判断と同じく「拡大継続」が妥当である。</p>	拡大継続	16,044	16,766	<p>家庭や地域の教育力の再生・充実を図るため、現段階では行政が主導的立場で進めているが、将来は育成団体が中心となり進められるよう支援する。保育園の子育てセミナーでは、参加者によるグルーブトークを中心に実施している。また、育成会主催の子育てセミナーでは、開催方法や独自の講師を依頼するなど工夫して開催している。よって、当面は拡大継続とする。</p>	拡大継続